

日本建設機械化協会規格

プライバー

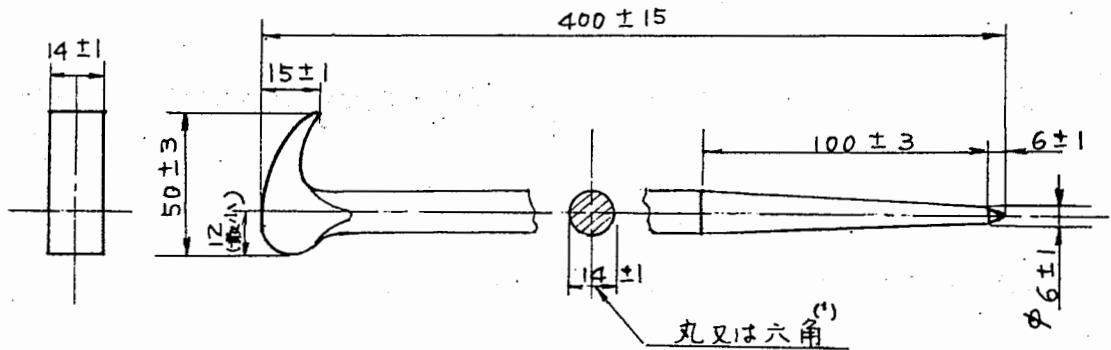
Pry Bars

1. 適用範囲 この規格は、主として建設機械の日常整備に使用するプライバーについて規定する。

2. 形状・寸法 プライバーの形状・寸法は、図1による。柄の断面形状は丸又は六角とする。

図1 プライバーの形状・寸法

単位 mm



注 (1) 寸法は、丸の場合は直径を、六角の場合は対辺距離を示す。

3. 品質

3.1 外観 外観は、有害なきず、割れ、まくれ、さびその他の欠点がなく、仕上げは良好でなければならない。

また、さび止め処理を施さなければならない。

3.2 硬さ 硬さは、両作業端において、それぞれ HRC35~45 とする。

3.3 強さ 強さは、 $118\text{N}\cdot\text{m}$  の試験曲げモーメントを加えたとき、各部に永久ひずみ、破壊など使用上の欠陥があってはならない。

4. 材料 材料は、JIS G 4051 (機械構造用炭素鋼鋼材) の S53C 又は、用上これと同等以上の性能をもつものとする。

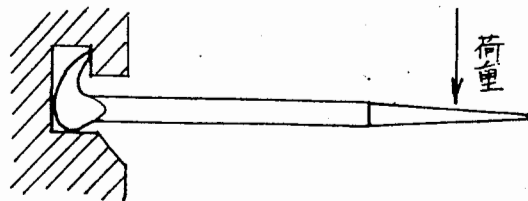
引用規格：JIS B 7726 ロックウェル硬さ試験機  
JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材  
JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験方法  
関連規格：JIS E 1502 クローバー  
Federal Specification GGG-B-101d Bars: Chisel, Pinch, Pry, Wrecking,  
Digging, Tamping, Digging and Tamping; and Crowbars

5. 試験方法

5.1 硬 さ 硬さ試験は、J I S B 7 7 2 6 (ロックウェル硬さ試験機)に規定する試験機を用いて、J I S Z 2 2 4 5 (ロックウェル硬さ試験方法)の試験方法によって測定する。なお、測定箇所は両作業端のほぼ中央部とする。

5.2 強 さ 強さは図2に示す試験を行い、3.3に示す試験曲げモーメントを加える。荷重作用点は、原則としてテーパー部のほぼ中央とする。

図 2 強 さ 試 験 法



6. 検 査 検査は、外観、形状・寸法、硬さ及び強さについて行い、それぞれ2及び3の規定に適合しなければならない。

7. 製品の呼び方 製品の呼び方は、規格名称とする。

例： ブライバー

8. 製品の表示 製品には適当な箇所に製造業者名又はその略号を表示する。